

様式第6号（第20条関係）

番 号  
令和3年 6月 23日

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀県鳥栖市村田町1250-1  
特別養護老人ホーム真心の園内  
団 体 名 特定非営利活動法人小児がん・まごころ機構  
代表者職・氏名 理事長 中川原 章

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和3年2月9日付け県協第2085号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 年度寄附金活用実績報告書

事業名	小児がん啓発及び広報事業
寄附受入額	2,225,630 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. 国際小児がんデーイベント事業</p> <p>令和3年2月14日にホテルニューオータニ佐賀において、「世界の小児がんの子どもを救おう」というテーマでイベントを開催する予定だったが、コロナ感染拡大の状況を鑑みて、当日はオンライン配信 (YouTube) のみの開催に変更し、次の通り実施した。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基調報告:「WHOの小児がんグローバル戦略と私たち」 (理事長 中川原 章)</li><li>・講演:「アジアの子どものために〜JCCGの取り組み」 (NPO法人日本小児がん研究グループ (JCCG) 国際委員会 委員長 岡本 康弘)</li><li>・ハートフルメッセージ:「白血病と向き合い懸命に生きた息子」 (金高 美和)</li><li>・アトラクション:ゴスペルコンサート (Joyful Voices@九州) 「歌って踊ってショータイム！」 (ティーンズミュージカル SAGA)</li></ul> <p>2. 地域の小児がん患者、経験者、家族の支援啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10月17日、佐賀市「二葉がんサロン」において、本機構理事長中川原章が「WHOの小児がん宣言:不平等との闘い」の講演を行った。</li><li>・10月25日、「上峰がんサロン」において、本機構理事長中川原章が「WHOの小児がん宣言:不平等との闘い」の講演を行った。</li></ul> <p>※他にもがんサロン開催を予定していたが、コロナ感染拡大の状況を鑑み、中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本機構は、佐賀県唐津市と鳥栖市で「小児がんサロン」の設立の準備を進めているが、コロナ感染拡大の状況の中、開催には至っていない。</li></ul> <p>3. 大学生に対する小児がん啓発活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・9月15日、佐賀大学医学部において、本機構理事長中川原章が「小児がんについて」の講義を行った。</li></ul> <p>4. 当法人の佐賀事務局、新設</p> <p>6月23日、東京事務局に加え新たに佐賀事務局を開設し、ここを拠点として主にふるさと納税関係の業務を行っている。</p>	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
<p>本機構は、これまで東京に拠点を置いて医師や研究者を中心とした活動を行ってきたが、新たに佐賀にも事務局を設置することで患者や家族に寄り添った活動も可能となり、県内での活動を活発化し、広げていくための基盤を作ることができた。</p> <p>国際小児がんデーのイベントについては、コロナ感染を鑑みオンライン配信のみの開催となったが、佐賀からの発信を県内のみならず、どこからでも視聴してもらうことができた。視聴回数は、現在までに約200回と決して多くはないものの、本機構が実施したアンケートには、「小児がんの現状やこのような取り組みが行われていることを改めて具体的に知る機会となりました。アジアの子ども達に診断と治療の機会が与えられること切に願います。」というような声が寄せられ、小児がんの現状や本機構の取り組みについて知ってもらう上で成果があった。今後においても小児がんの克服に向けて、患者や家族の支援への活動につなげていくためにも、この催しの定例化を図りたい。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		小児がん啓発及び広報事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	2,256,300	
		収入 計	2,256,300
支 出	イベント関係謝礼	250,184	
	業務委託費	490,516	
	宣伝広告費	170,000	
	印刷製本費	17,116	
	通信運搬費	8,440	
	支払手数料	7,030	
	用品費 (佐賀事務所新設)	387,662	
	消耗品費	3,898	
	次期繰越金	921,454	
	支出 計	2,256,300	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。